

川崎市債投資セミナー

2011年9月29日

賢く、手堅く、資産運用！

～債券投資の魅力を学ぼう～

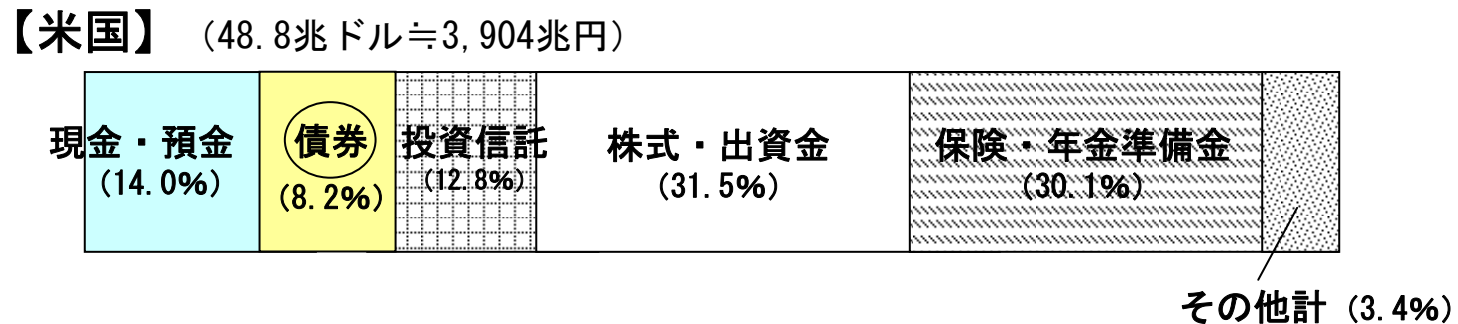
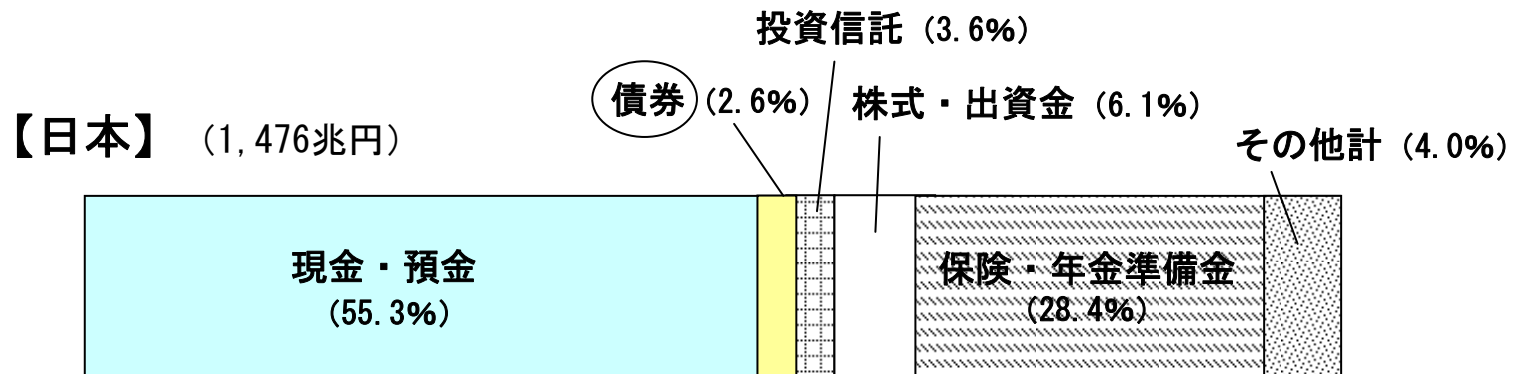
日興フィナンシャル・インテリジェンス(株)

投資教育研究所・特別研究員

平岡 久夫

家計金融資産の日米比較

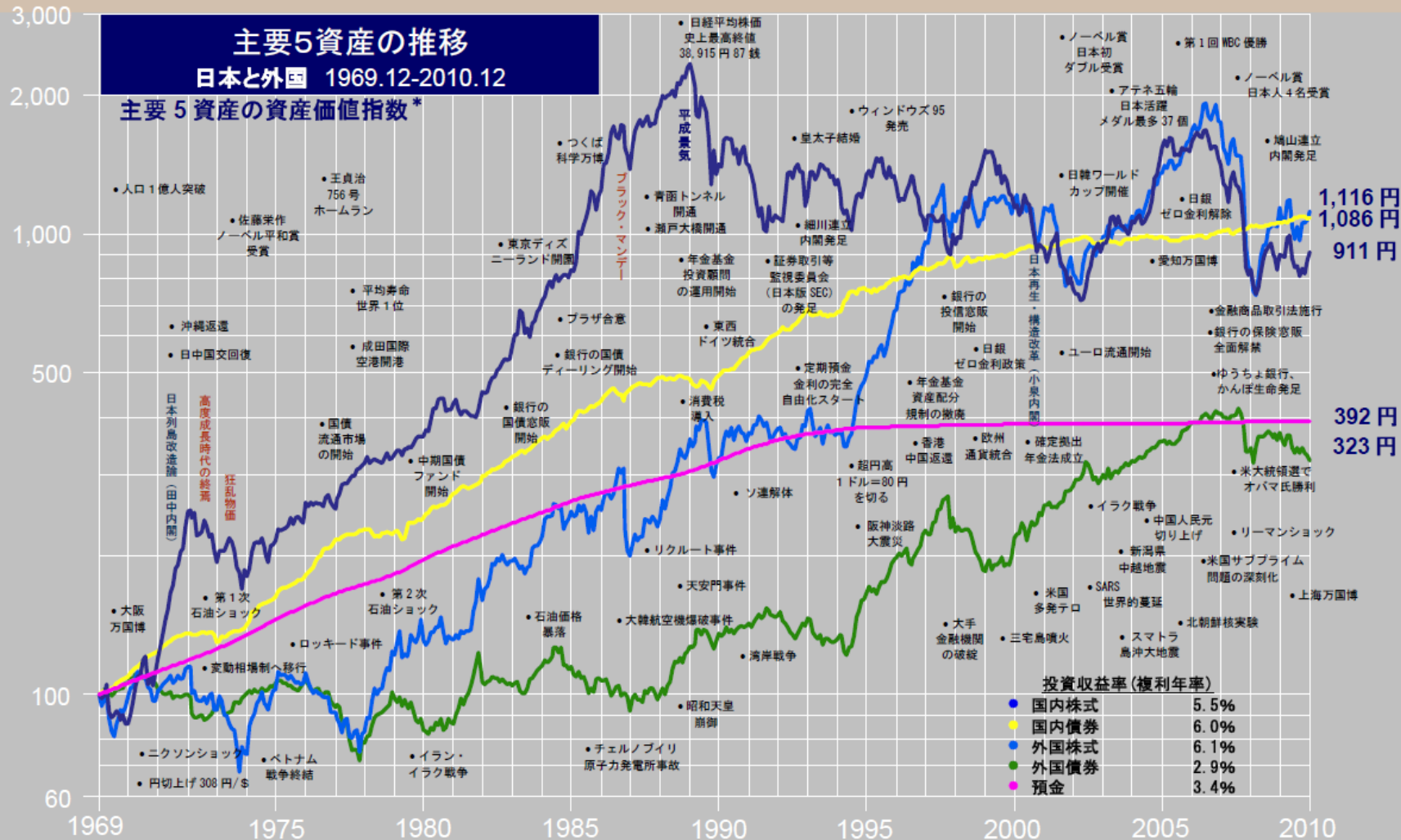
(構成比、2011年3月末)



株式・出資金+債券+投資信託=日本 : 12.3% 米国 : 52.5%

出所 : 「資金循環の日米比較」 (日本銀行)

指数値(円)



* 1969年末に元本100円を投資し、以後配当・利息を再投資した場合の資産価値。税金と取引費用は考慮していません。
 <出所> 国内株式は東証一部上場株式全銘柄の時価総額加重平均指数。国内債券はNOMURA-BPI総合指数。外国株式はMSCI Kokusai。外国債券は1984年までは世界の主要国を構成国とするイボットソン・アソシエイツ・ジャパンの外国債券ポートフォリオ(円ベース)、1985年以降はシティグループ世界国債インデックス(日本除く、円ベース)。預金は銀行定期預金(1年)。
 このグラフは資産価値推移の解説を目的としており、実際の投資実績を表示するものではありません。
 過去のパフォーマンスは将来の結果を保障するものではありません。Copyright © 2011 イボットソン・アソシエイツ・ジャパン(株)

ibbotson.
www.ibbotson.co.jp

債券とは

債券とは、国をはじめ、地方公共団体、政府関係機関、株式会社、特殊金融機関などが資金を調達する際に、広く一般の投資者を募り、その元本の返済や利子の支払いなどの条件を明確にするために発行する証書です。

投資対象としての債券の特徴

1. 収益性

預貯金の金利よりは高い。発行から償還まで、発行時に約束された利子が支払われ、変更されることはありません。⇒「確定利付証券」

2. 安全性

債券には普通、償還期限があって、期限が到来すれば、元本は全額返済されます。
(*ただし発行者によって、元利金の支払いができなくなる可能性があります)

3. 換金性

債券は、それを売却することで、途中換金ができます。
ただし売却する場合、必ずしも当初の元本が返ってくるとは限らず、その時の金利情勢によっては、利益が出たり、元本を割る可能性もあります。

4. 多様性

いろいろな種類の債券があり、運用期間や安全性重視・収益性重視など、資金の目的に応じて選べます。

債券の種類

国債	個人向け国債 利付国債	個人限定。償還年限10年変動タイプと3・5年固定タイプ。1万円から購入。 毎月発行で販売単位は5万円。年限2・5・10・20年。
政府保証債		政府機関による発行で、元利金の支払いを政府が保証。
財投機関債		政府保証なしで、特殊法人が発行する債券
地方債		<u>主要な自治体が発行。販売単位は原則10万円(ミニ公募債は原則1万円)</u>
事業債		普通社債、電力債など、企業が発行する債券。 同年限の国債より利回りが高く、種類も多い。
サムライ債		外国の発行体が日本の法律に基づき、円建てで発行する債券。 原則として、元金、利払いともに円で、為替リスクなし。
ユーロ債		海外市場で発行される円建て債券。 原則として、元金、利払いともに円で、為替リスクなし。
外貨建て債券		米国国債、オーストラリア国債など。海外の市場で発行される外貨建て債券。 一般的に円建て国内債よりも、外貨ベースで好利回り。 元金・利払いともに外貨で、為替差益・差損の可能性あり。
仕組み債		為替レートや株価指数などの動向により、利率や償還額(償還形態)が変動する債券。

金利一覧

普通預金	0.02 %	2011.9.12現在
ゆうちょ銀行貯金	0.03 %	〃
スーパー定期（1年）	0.025 %	〃
〃（3年）	0.050 %	〃
〃（5年）	0.050 %	〃
個人向け国債（固定：3年）	0.21 %	2011.8.15発行
小田急電鉄（固定：3年、個人向け）	0.38 %	2011.7.29発行
個人向け国債（固定：5年）	0.41 %	2011.7.15発行
第28回川崎市債（固定：5年）	0.46 %（利回り：0.464%）	2011.6.30発行
東日本旅客鉄道（固定：5年）	0.533 %	2011.7.22発行
10年国債利回り		
日本	1.003 %	2011.9.12現在
ドイツ	1.739 %	〃
米国	1.947 %	〃
カナダ	2.136 %	〃
オーストラリア	4.142 %	〃
ニュージーランド	4.462 %	〃

（日経、ブルムバーグ等より NFI 作成）

債券の条件

(1) 額面

債券の券面ごとに表示されている1万円、100万円、1億円といった金額を額面といい、債券の量、取引金額などを計算する基本となります。

(2) 利率

債券の額面に対する1年当たりの利子の割合を、年利率、または単に利率といいます。

日本の債券は、大半が年2回、半年ごとに利子の支払いがあり、債券1枚ごとの券面には1回ごとの利子支払いのための利札(クーポン)が付いています。この利札と引き換えに利子を受け取ります。そこで、利率のことをクーポンレート、または単にクーポンと呼びます。

(3) 償還

発行者が購入者に元本を返済する期日を、償還日といいます。

(4) 価格

債券の価格は、額面100円あたりで表され、通常、単価と呼ばれます。

100円ちょうどの時をパー、100円超をオーバーパー、100円未満をアンダーパーと呼びます。

発行価格は100円ちょうどのパー発行が多いですが、アンダーパーまたはオーバーパー発行で償還価格が100円の場合は、その差額が償還差益または償還差損になります。

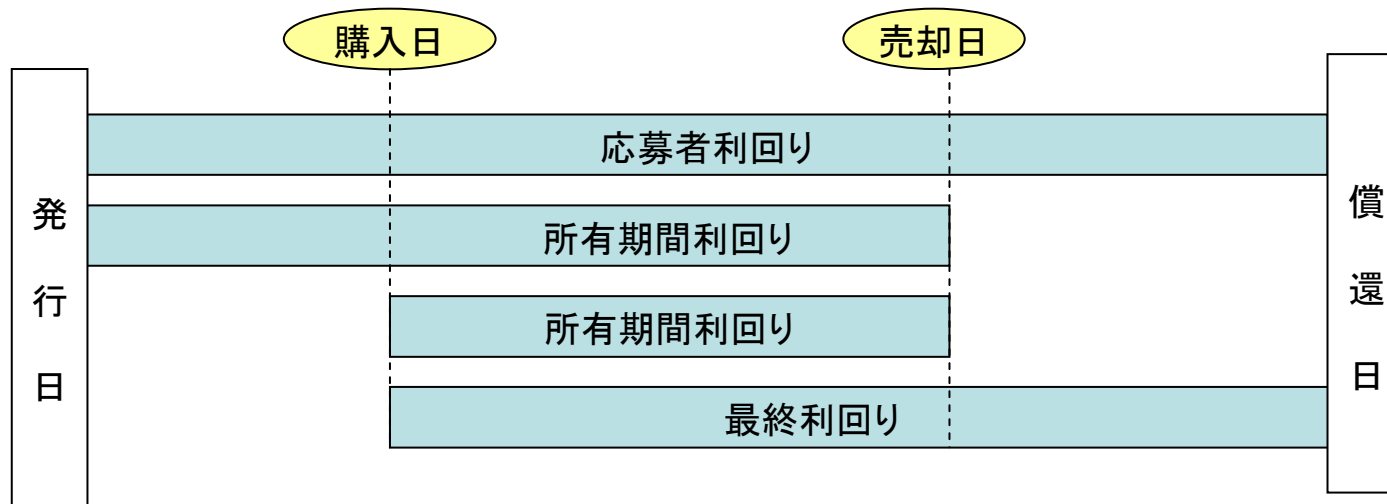
債券の利回り

利率と利回りの違い

- ・利率は、額面金額に対する利子の割合をいいます。
- ・利回りは、投資元本に対して、1年当たり何%の利益*を生み出したかを示します。
利益* = 利子 + 売買・償還差損益

債券の利回りは、保有期間により、利回りの呼び方が異なります。

- ・応募者利回り : 発行時に購入してから償還まで保有した場合の利回り
- ・所有期間利回り : 購入した債券を償還まで保有せず、途中売却した場合の利回り
- ・最終利回り : 途中購入してから償還まで保有した場合の利回り



債券投資のリスク

1. 金利リスク

金利変動によって、債券価格が変動し、期待したリターンが実現しないリスク(価格変動リスク)や、利子などを当初予定の利回りで再投資できないリスク(再投資リスク)などがあります。

2. 期中償還リスク

満期を待たず、発行者によって償還(期中償還)される場合、当初予定の利回りを上回ったり、下回ったりします。この不確実性を期中償還リスクと呼びます。

3. 信用リスク(債務不履行リスク)

発行者が、毎期のクーポンや償還金額を予定通りに支払えないリスクで、デフォルト・リスクと呼ばれます。この債務不履行リスクの度合いを測る尺度として、格付機関が評価する格付けがあります。

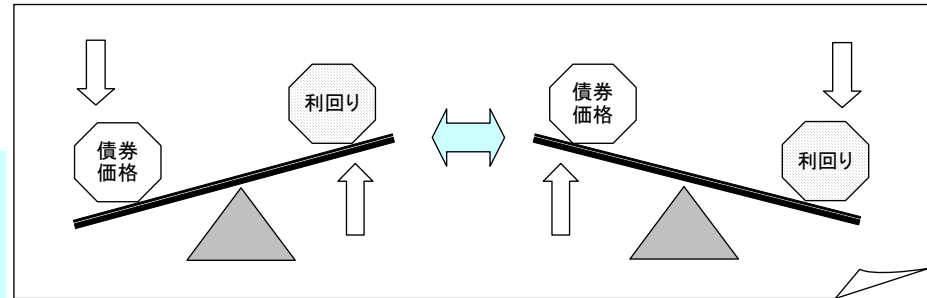
4. 為替リスク

円貨以外の通貨で発行する債券は、外国為替の動きに影響されます。好利回りな外貨建て債券であっても、満期で円高になっていれば投資元本を割り込む可能性があり、円安になっていればより高い利回りを得られる可能性があります。

為替相場変動による利回りの不確実性を為替リスクといいます。

金利と債券価格

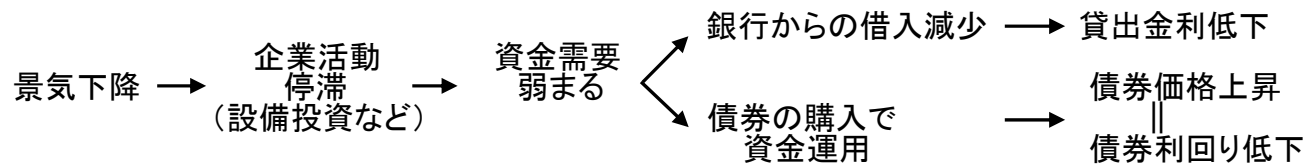
金利が上がれば、債券価格は下落
金利が下がれば、債券価格は上昇



例えば、満期まで毎年の利率が1.5%の債券を100円で買ったとします。

- ① その後世の中の金利が上昇し、利率2.0%の債券が100円で売り出されました。利率1.5%の債券を売るためには、利率で不利になる分、価格を100円より安くしないと売れません。
→ 買い手は、償還が100円なので、その差益(償還差益)で利率の低い分をカバーします。
- ② 金利が下落し、利率1.0%の債券が売り出されました。利率1.5%の債券を売る時には、利率で有利な分、価格は100円以上で売ることができます。
→ 買い手は、償還時に差損(償還差損)が出ますが、利率の高い分でカバーします。

【債券価格・利回りの変動：景気下降の場合】



長期債務格付け一覧

		ムーディーズ*	S&P,R&I,JCR		定義例：ムーディーズ
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>低い</p> <p>↑</p> <p>利回り (利率)</p> <p>↓</p> <p>高い</p> </div> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>高い</p> <p>↑</p> <p>信用力</p> <p>↓</p> <p>低い</p> </div> </div>	投資 適格	Aaa	AAA	トリプルA	信用力は最も高く、信用リスクが最小限である。
		Aa1	AA+	ダブルA	信用力が高く、信用リスクが極めて低い。
		Aa2	AA		
		Aa3	AA-		
		A1	A+	シングルA	中級の上位で、信用リスクが低い。
		A2	A		
		A3	A-		
		Baa1	BBB+	トリプルB	信用リスクが中程度。中位にあり、一定の投機的な要素を含む。
		Baa2	BBB		
	Baa3	BBB-			
	投資 不適格	Ba1	BB+	ダブルB	投機的要素をもち、相当の信用リスクがある。
		Ba2	BB		
		Ba3	BB-		
		B1	B+	シングルB	投機的であり、信用リスクが高い。
		B2	B		
		B3	B-		
		Caa1	CCC+	トリプルC	安全性が低く、信用リスクが極めて高い。
		Caa2	CCC		
Caa3		CCC-			
Ca	CC	ダブルC	非常に投機的であり、デフォルトに陥っているか、それに近い状態にあるが、一定の元利の回収が見込める。		
C	C	シングルC	最も格付けが低く、通常、デフォルトに陥っており、元利の回収の見込みも極めて薄い。		
		D			

格付け:一つの読み方／目安

(評価時点から)

AAA	トリプルA	<u>10年</u> で倒産する確率 <u>0%</u>
AA	ダブルA	<u>5年</u> "
A	シングルA	<u>3年</u> "
BBB	トリプルB	<u>1年</u> "

BB	ダブルB	<u>5年で20%、10年で30%</u> の倒産確率
B	シングルB	<u>5年で40%、10年で50%</u> の倒産確率

(格付機関情報より NFI 作成)

資産配分アンケート①

該当する事柄の点数を○で囲んでください。

Q1.現在の年齢から考えた投資期間は？（例：退職までの年数）

- ・ 10年未満___10 ・ 10年以上～20年未満___20 20年以上～30年未満___30 ・ 30年以上___40

Q2.公的な年金以外で老後の収入の見込みはありますか？

- ・ 全く見込みはない___5 ・ 現在の年収の半分程度は見込める___10 ・ 現在の年収程度は見込める___15

Q3.どのくらい貯蓄していますか？

- ・ 1000万円未満___10 ・ 1000万円以上3000万円未満___20 ・ 3000万円以上___30

Q4.退職時までに取り崩す予定はありますか？

- ・ すべて取り崩す予定である___0 ・ 半分取り崩す予定である___10 ・ 取り崩す予定はない___20

Q5.今後、退職までの収入（年収ベース）見込みはどうなりますか？

- ・ 減る見込みである___0 ・ 現状と変わらない___10 ・ 増える見込みである___15

Q6.緊急時の備えとして、すぐに取り崩すことのできる資金はありますか？

- ・ ない___0 ・ ある（月給の5ヶ月分以内）___5 ・ ある（月給の6ヶ月分以上___10

資産配分アンケート②

該当する事柄の点数を○で囲んでください。

Q7.老後の資金を貯えるのに、どのような運用をすべきと考えますか？

- ・安全性重視（場合によっては目標額に達しなくともよい） ____ 10
- ・できるだけ目標額に達成できるような運用 ____ 20
- ・収益性重視（失敗によって目標額に達しなくてもよい） ____ 30

Q8.株式市場が大きく下落したり、外貨建て資産に投資している場合に為替市場が大きく円高になったりすると、あなたの資産の価値は減少します。その時、あなたはどのように対応しますか？

- ・こわいので、できるだけ早く売却して安定的な資産に乗り換えたい ____ 5
- ・長期投資なので、資産価値の増減は覚悟している ____ 10
- ・投資のチャンスなので、むしろ買い増ししたい ____ 15

Q9.いままでに株式投資信託や株式の個別銘柄に投資した経験はありますか？

- ・経験はない ____ 0
- ・経験はあるが、リスクがあるので、今後はあまり投資したく ____ 2
- ・経験はないが、今後は投資したい ____ 4
- ・経験はある。今後も投資したい ____ 6

Q10.いままでに公社債投資信託や債券の個別銘柄に投資した経験はありますか？

- ・経験は ____ 0
- ・経験はあるが、リスクがあるので、今後はあまり投資したくない ____ 1
- ・経験はないが、今後は投資した ____ 2
- ・経験はある。今後も投資したい ____ 3

モデル資産構成(例)

リスク許容度	アンケート合計点数	モデル資産配分	短期資産	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
<div style="text-align: center;"> ローリスク ローリターン ↑↓ ハイリスク ハイリターン </div>	~90	I (保守・堅実型)	40 %	30 %	12 %	6 %	12 %
	91~109	II	20	16	24	12	28
	110~	III (攻撃・積極型)	10	5	32	18	35

(SMBC日興証券、日興グローバル・ラップ資料より NFI 作成)

『運用成果の約90%は、資産配分で決まる』

『大局観』

「時代は、時代に遅れるものを罰する」(ゴルバチョフ)

「成功の80%は、その場に姿を見せることだ」(ウディ・アレン)

「偶然は、準備のできていない人を助けない」(パスツール)

「道徳なき経済は罪悪であり、経済なき道徳は寝言である」
(二宮尊徳翁)